

看護師の負担軽減及び処遇の改善計画

看護職員と他職種との業務分担

(1) 薬剤科

病棟配置薬の期限を確認し、在庫管理を行うことで看護師の負担軽減を図る。
相互作用チェック用紙を毎回薬袋へ貼布したり、投与方法に注意が必要な薬品へ、注意喚起カードを付け、配薬間違いを防止に努める。

T P N、抗がん剤の無菌調整を行い、看護師の負担軽減を図る。

入院患者の持参薬の内容確認など薬学的管理を行い、看護師の負担軽減を図る。
全病棟において、病棟薬剤師を配置し薬剤管理及び助言を行いことで看護師の負担軽減を図る。

(2) リハビリテーション科

理学療法士・作業療法士

平日、休日を問わず、患者のリハビリを実施し、入院後環境調整が必要な患者に対して、看護師からの依頼があれば協働し環境設定を行い、患者の安全を確保すると共に、看護師の負担軽減を図る。

褥瘡予防のためのポジショニングや離床の検討を看護師と協働して行う。

言語聴覚士

入院患者に対して必要に応じて口腔機能及び嚥下機能の評価を行い、看護師と情報の共有や助言、指導を行うことで看護師の負担軽減を図る。

(3) 臨床検査技師

外来中央処置室において、繁忙時検体の回収に来て看護師の負担軽減を図る。
全病棟の翌日の検体準備を行い、各病棟へ運搬し看護師の負担軽減を図る。

(4) 放射線技師

レントゲン検査時、患者の搬送、検査後病棟へ搬送を行い、看護師の負担軽減を図る。

(5) 臨床工学技士

医療機器の点検を行い、点検済みの医療機器を各病棟へ運搬し直ちに使用できる体制を整備し、看護師の負担軽減を図る。
医療機器の不具合が生じた場合、相談、臨時点検に応じる。

(6) 栄養管理科

NST 委員会の回診リストへの内容入力や、食事オーダー変更を行い、看護師の負担軽減を図る。
療養病棟患者の経管栄養剤注入の準備を行い、看護師の負担軽減を図る。

栄養管理科にて、入院予定（外来）患者のカルテ記載を確認し、アレルギーなどの情報収集に努める。

(7) 病棟クランク（事務的補助）

入退院時必要な書類の作成及びスキャンを行う。C Sセット申し込み患者に関するデータ入力を行い看護師の負担軽減を図る。

繁忙時、電話対応を積極的に行い、看護師へ情報伝達を行うことで看護師の負担軽減を図る。

介護福祉士・看護補助者の配置

介護福祉士

介護福祉士を適正に配置し、看護師の指示のもと患者の周辺業務及び直接ケアを実施し、看護師の負担軽減を図る。また、包括ケア病棟において夜勤業務にも従事する。

職員 I Dを付与し、看護師の指示のもと看護記録、入力を行い、看護師の負担軽減を図る。

看護補助者

看護補助者を適正に配置し、看護師、介護福祉士の指示のもと患者の周辺業務及び直接ケアを行い看護師の負担軽減を図る。また、包括ケア病棟において夜勤業務にも従事する。

妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する配慮 短時間正規雇用の看護職員の活用 多様な勤務形態の導入

職場復帰がスムーズに行えるよう院内保育園の利用を実施する。

妊娠中、就学前まで本人の申請により夜勤を減免又は免除する。

育児短時間勤務については、育児休業規則に応じて実施する。

その他

看護基準を維持できるように看護職員数を適正に管理し、年休等の休暇が適切に取得できるように体制を整備する。

専門・認定看護師資格取得のための長期研修は、長期教育課程等受講取扱い要綱に基づいて、専門分野の知識・技術の習得を支援する。